

ヤジ排除道警「問題なし」

調査結果道議会に説明へ

札幌市で昨年7月、安倍晋三首相の街頭演説中にヤジを飛ばした市民らを道警の警察官が取り押さえて排除した問題で、道警が排除に関わった警察官の行為について「いずれも法令を順守しており問題がなかった」とする調査結果をまとめたことが19日、関係者への取材でわかった。

関係者によると、道警は26日に予定の道議会総務委員会で、一連の道警の警察官の行為について説明する

方針という。少なくとも9件の排除行為を、警察官職務執行法など関係法令に照らして精査した結果、「いずれも適法であり、問題はなかった」と説明するとみられる。

道警は問題の発生直後、公道での政治家へのヤジについて「公職選挙法の『選挙の自由妨害』違反になるおそれがある」と主張していた。だが、その後は、公選法違反については「事実確認中」とし、警官の排除

行進の法的根拠については「現場のトラブル防止の観点から講じた措置」と説明を変えた。

鈴木直道知事は7月24日、日本記者クラブでの会見で「道警としてしっかりお話しする必要がある。私も記者会見などでお話しすることになる」と述べた。8月1日の定例会見では「（道警は事実関係を）できるだけ速やかに明らかにしてほしい」と話した。

一方、道警の山岸直人本

部長は昨年8月以降、道議会本会議や委員会で再三にわたり法的根拠について説明を求められたが、「地検が捜査中のため答弁はささげる」、「詳細は事実確認中」と繰り返し、詳しい説明を避け続けている。

年7月、排除に關わった複数の警官を第三者が特別公務員職権乱用などの疑いで札幌地検に告発した。昨年12月には、排除された当事者の男性が、少なくとも一人の警官を、特別公務員職権乱用と特別公務員暴行で

同時に、道警を所管する道
を相手取った国家賠償請求
訴訟を札幌地裁に起こして
いる。

このほか、北海道弁護士
会連合会も、道警に対し捜
除の法的根拠を早急に説明
するよう求めている。

ヤジ排除道警問題なし

調査結果を報告へ

性は警察官から「周りの人々に危害を加えるかもしされない」と言われたと証言しており、道議会内でも「道警の調査は事実をかなりねじ曲げている印象だ」と疑問視する声が出ている。

’20年2月20日道新報

月、安倍晋三首相の街頭演説中に批判の声を上げるなどした市民を排除した問題で、道警が「法令を順守しており問題ない」とする調査結果をまとめたことが19日、関係者への取材で分かった。26日の道議会総務委員会で報告する見通し。

で大声を上げた男性を移動させた」「三越前で大声を上げた男性を押しとじめた」など5件の「警察措置」を行つたとし、警察官職務執行法第4条の「避難等の措置」、同第5条の「犯罪の予防及び制止」などを法的根拠として示した。細かな「措置」の内容や目的は記載していない。

は周囲に「首相の熱烈な支持者が周囲にたくさんおり、『安倍やめろ』と叫んで男性が危ない状況だったため、守るために連れ出された」と説明している。ただ、山岸直人道警本部長は昨年8月の道議会で「トラブル防止の観点から措置を講じた」と説明した。

「増税反対」と呼び、2時間近く行動を遮られた女

は、人の生命や身体に危険が及ぶ恐れがあり、急を要する場合に限っている。排除された札幌市の男性は昨年12月、「演説者に批判を投げかけるだけで強制排除する行為は違法」として、特別公務員職権乱用などの疑いで札幌地検に告訴状を提出。道警はこれまで「事実を確認中」として具体的な説明を避け続けていた。

は周囲に「首相の熱烈な支持者が周囲にたくさんおり、『安倍やめろ』と叫んだ男性が危ない状況だったため、守るために連れ出された」と説明している。ただ、山岸直人道警本部長は昨年8月の道議会で「トラブル防止の観点から措置を講じた」と説明した。

「増税反対」と呼び、2時間近く行動を遮られた女

は、人の生命や身体に危険が及ぶ恐れがあり、急を要する場合に限っている。排除された札幌市の男性は昨年12月、「演説者に批判を投げかけるだけで強制排除する行為は違法」として、特別公務員職権乱用などの疑いで札幌地検に告訴状を提出。道警はこれまで「事実を確認中」として具体的な説明を避け続けていた。